

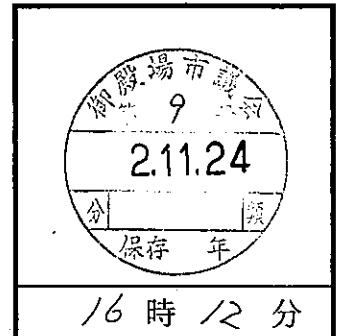
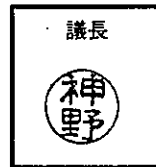
# 発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。

令和 2年11月24日

御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 18番 高木 理文



発言の種別 代表質問  一般質問  括質問  括答弁方式  一問一答方式 ※ 選択制

## 質問事項1 高齢者の聞こえの支援について

具体的内容 内閣府の『高齢社会白書』によれば、団塊の世代が全員後期高齢者になる2025年には高齢化率は30%になる。高齢者が増えれば難聴者も増える。多くの高齢者が就労を続け、社会活動に参加を続けようと望んでいるが、難聴が進めば、コミュニケーションが衰えて社会的に孤立し、認知機能の後退に繋がっていく。

### 質問

- 1 市内高齢者の難聴者の実態について伺う。
- 2 認知症の危険因子である難聴について認識を伺う。
- 3 聞こえ支援の取り組みについて伺う。
- 4 補聴器の購入費助成制度について伺う。

発言の種別 代表質問  一般質問  括質問  括答弁方式  一問一答方式 ※ 選択制

## 質問事項2 ゼロカーボンシティの取り組みとごみ減量について

具体的内容 本市は今年2月に「ゼロカーボンシティ」への挑戦を宣言し、2050年までに市内の二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指している。その取り組みの一環として、ごみ発電電力の活用が始まろうとしている。ゼロカーボンシティ実現の取り組みとごみ減量はどのように両立させて取り組まれるのか、以下伺う。

### 質問

- 1 ゼロカーボンシティ達成の工程について伺う。
- 2 ゼロカーボン電力利用のメリットについて伺う。
- 3 6R推進による、ごみ減量の推進について伺う。